

## 安全データシート

### QuickGene-AutoS RNA Cell and Virus Kit (AS-RCV)

品名	GHS分類	絵表示
Lysis Buffer LRJ-01		
Wash Buffer WRJ-S1	引火性液体：3 眼刺激：2A 発がん性：1A 生殖毒性：1A 特定臓器毒性(単回暴露)：3 特定臓器毒性(反復暴露)：1, 2	
Elution Buffer CRJ-S1		
Ethanol	引火性液体：2 眼刺激：2B 発がん性：1A 生殖毒性：1A 特定臓器毒性(単回暴露)：3 特定臓器毒性(反復暴露)：1, 2	

## 倉敷紡績株式会社

### 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町 14-30 クラボウ先進技術センター 2F
電話	072-820-3079
FAX	072-820-3095

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Lysis Buffer
製品コード	LRJ-01
SDS整理番号	LRJ01_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬 研究専用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分に該当せず
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
水	50 - 60	7732-18-5	-
グアニジンチオシアン酸塩	30 - 40	593-84-0	-
ビス-トリス	< 10	6976-37-0	-
ポリソルベート20	< 10	9005-64-5	7-110; 8-55

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に記載されていません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師の診察を受けること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	関係者以外は近づけない。回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化方法・機材	不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	
	取扱者のばく露防止	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	注意事項	皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
安全取扱い注意事項		屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
	衛生対策	眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	保管	容器を密閉しておくこと。
	安全な保管条件	涼しいところに置き、日光から遮断すること。
	避けるべき保管条件	データなし
	安全な容器包装材料	データなし

### 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標	管理濃度	データなし
	許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし ACGIH 許容濃度データなし
	ばく露防止 設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。洗眼設備を設ける。手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
	眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色、透明
	臭い	無臭
pH		6.5
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		燃焼しない
可燃性(ガス、液体及び固体)		燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界		可燃限界情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし
溶解度	水	溶ける
	溶媒	情報なし
n-オクタノール・水分係数		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
粒子特性		適用外

## 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
催奇形性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性		情報なし
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性		情報なし

## 12. 環境影響情報

### 混合物としての環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
<b>廃棄物の処理方法</b>	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
<b>汚染容器及び包装</b>	内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

<b>国際規則</b>		
<b>国連分類</b>		該当しない
<b>国連番号</b>		該当しない
<b>IMDG Code (国際海上危険物規程)</b>		該当しない
<b>IATA 航空危険物規則書</b>		該当しない
<b>環境有害性</b>	MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止	海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
<b>特別の安全対策</b>		データなし
<b>パルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード</b>		該当しない
<b>国内規制</b>		
<b>海上規制情報</b>		
<b>船舶安全法</b>		該当しない
<b>航空規制情報</b>		
<b>航空法</b>		該当しない

### 15. 適用法令

<b>化審法</b>	優先評価化学物質	ポリソルベート20(政令番号222 生態影響)
<b>労働安全衛生法</b>		該当しない
<b>化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)</b>		該当しない
<b>毒物および劇物取締法</b>		該当しない
<b>消防法</b>		該当しない

### 16. その他の情報

#### 参考文献、URL

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

#### 改訂履歴

2023年8月18日 作成

#### 記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度(2020度))です。

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Wash Buffer
製品コード	WRJ-S1
SDS整理番号	WRJS1_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079

#### 推奨用途及び使用上の制限

製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬  
研究専用

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	2A
	発がん性	1A
	生殖毒性	1A
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肝臓)
		区分2(中枢神経系)

#### GHSラベル要素



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

引火性の液体および蒸気  
強い目刺激  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気やめまいのおそれ  
発がんのおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じる: 肝臓  
長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ: 中枢神経系

#### 注意書き

#### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること/アースをとること。  
耐爆電気/換気/照明/機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと

#### 【応急措置】

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
皮膚(または髪)にかかった場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクト

レンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。  
 火災の場合: 消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。  
**【保管】** 施錠して保管すること。  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。  
**【廃棄】** 内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
エタノール	25 - 35	64-17-5	(2)-202
水	Balance	7732-18-5	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

### 4. 応急措置

**応急措置をする者の保護**  
**吸入した場合** 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。  
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
**皮膚(髪)に付着した場合** 汚染された衣服を脱ぐ。多量の石鹸と水で洗う。  
 皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。  
**眼に入った場合** 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける。  
**飲み込んだ場合** 口をすすぐ。  
 気分が悪い時は、医療機関や医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

**消火剤**  
**適切な消火剤** 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコールフォーム、水スプレー(水噴霧)  
**避けるべき消火剤** 情報なし  
**特有の消火方法** 情報なし  
**火災時の特有危険有害性** 引火性  
**消火を行なう者の保護** 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**  
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
 適切な個人保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)  
**環境に対する注意事項**  
 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。その他の環境情報については「12. 環境影響情報」の項を参照。  
**封じ込め及び浄化の方法及び機材**  
 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い** **技術的対策** 皮膚、眼、衣類に触れないようにする。取扱い後は手を洗うこと。  
**局所排気・全体換気** 換気が十分な場合にのみ使用する。  
**注意事項** 「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照  
**安全取扱い注意事項** 「10. 安定性及び反応性」の項 参照  
**保管** **安全な保管条件** 直射日光を避け、密閉して保管する。  
**容器包装材料** 十分な靱性を有するプラスチック容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

### 許容濃度

成分名	JSOH (Japan)	ISHL (Japan)	ACGIH
エタノール 64-17-5	情報なし	情報なし	STEL: 1000 ppm

### 保護具

呼吸器用保護具 適切な呼吸保護具を着用する。  
 手の保護具 適切な手袋を着用する。  
 眼の保護具 目の保護具を使用する。飛沫の危険がある場合は、フェイスシールドを使用する。  
 皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

### 適切な衛生対策

使用時には飲食、喫煙をしないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态		
形状	液体	
色	無色透明	
臭い	アルコール臭	
pH	7.6	
引火点	情報なし	
自然発火温度	情報なし	
溶解度		
水に対する溶解性	完全に可溶	

## 10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性 推奨保管条件においては安定。  
 避けるべき条件 凍結。極端な温度と直射日光、熱、炎と火花。  
 危険有害な分解生成物 一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO2)

## 11. 有害性情報

### エタノールについて記載

急性毒性	区分外	経口LD50: 6200mg/kg(ラット) 吸入LC50: 20,000ppm/10H(ラット) 経皮LDLo: 20,000mg/kg(SIDS(2005))(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 発がん性	区分2B 区分1A	ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998et al) ACGIH 7th, 2012; IARC, 2010 IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
生殖毒性	区分1A	cat.1A; human : PATTY 6th, 2012
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性) 区分3(麻酔作用)	気道刺激性 ( PATTY 6th, 2012 ) 麻酔作用 ( PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005 )
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 区分2	肝臓 ( DFGOT vol.12, 1999 ) 中枢神経系 ( HSDB, Access on June 2013 )

## 12. 環境影響情報

### エタノールについて記載

生態毒性	藻類/水生生物 魚	EC50: Chlorella alga 1000 mg/L 96 h LC50: Fathead minnow>100mg/L 96h LC50: Oncorhynchus mykiss=11200ppm 96h
	甲殻類	EC50: Daphnia magna 5463mg/L 48 h
残留性・分解性	分解度: 89 % by BOD	
生体蓄積性	情報なし	
土壤中の移動度	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

### 13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法:産業廃棄物(廃酸)、水質汚濁防止法:生活環境項目、下水道法:下水の排除の制限】

### 14. 輸送上の注意

#### 国際輸送

海上輸送	IMDG Codeに従う
航空輸送	IATA危険品輸送規則に従う
UN 番号	UN1170
国連分類	3
プロパー SHIPPINGネーム	エタノール溶液
包装等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	情報なし

### 15. 適用法令

化審法	該当しない	
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 危険物・引火性の物	別表第9の61 施行令別表第1第4号
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない	
毒物および劇物取締法	該当しない	
消防法	該当しない	
船舶安全法	引火性液体類(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)	
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)	
海洋汚染防止法	施行令別表第1 有害液体物質 Z類物質	

### 16. その他の情報

#### 参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop.jp.faces>)

#### 改訂履歴

2023年8月18日 作成

#### 記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Elution Buffer
製品コード	CRJ-S1
SDS整理番号	CRJS1_JP_1
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬 研究専用

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類区分に該当せず
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
水	80-100	7732-18-5	—

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	不快感が続く場合は医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

消火剤	初期消火には炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火器等を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第8項参照)を着用すること。
環境に対する注意事項	薬品が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	ウエス、雑巾などでできるだけ回収し、こぼした所を完全に拭き取る。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 適切な換気がされている場合のみ使用する。 「10. 安定性及び反応性」の項参照。 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 衛生対策	
保管	安全な保管条件 容器包装材料	日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。 十分な靱性を有するプラスチック容器を使用する。

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。
	手の保護具	適切な手袋を着用する。
	眼の保護具	眼の保護具を使用する。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色透明
臭い		無臭
pH		6.5
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		適用外(不燃性液体)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度(水)		易溶
n-オクタノール・水分配係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		水と同等

### 10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、窒素酸化物(NOx)

### 11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD50 ラット:>2000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		刺激性なし
発がん性		IARC(国際がん研究機構)のランク[1;2A;2B]の物質の有無: 該当物質なし

### 12. 環境影響情報

#### 混合物としての環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動度	情報なし
他の有害影響	情報なし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

---

#### 14. 輸送上の注意

---

<b>国際規則</b>		
<b>国連分類</b>		該当しない
<b>国連番号</b>		該当しない
<b>国内規制</b>		
<b>海上規制情報</b>		
<b>船舶安全法</b>		該当しない
<b>航空規制情報</b>		
<b>航空法</b>		該当しない
<b>陸上規制情報</b>		
<b>消防法</b>		該当しない
<b>毒物および劇物取締法</b>		該当しない

---

#### 15. 適用法令

---

<b>化審法</b>	該当しない
<b>労働安全衛生法</b>	該当しない
<b>化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)</b>	該当しない
<b>毒物および劇物取締法</b>	該当しない
<b>消防法</b>	該当しない
<b>船舶安全法</b>	該当しない
<b>航空法</b>	該当しない
<b>海洋汚染防止法</b>	該当しない

---

#### 16. その他の情報

---

##### 参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP ([http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop\\_jp.faces](http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces))

##### 改訂履歴

2023年8月18日 作成

##### 記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Ethanol
製品コード	Ethanol
SDS整理番号	ETOH_JP_1.2
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ先進技術センター2F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	バイオメディカル部 072-820-3079

#### 推奨用途及び使用上の制限

製品の関連する特定用途: 自動核酸分離システム用試薬  
研究専用

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肝臓)
		区分2(中枢神経系)

#### GHSラベル要素

##### 絵表示又はシンボル



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気  
眼刺激を起こす  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気やめまいのおそれ  
長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じる: 肝臓  
長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ: 中枢神経系

##### 注意書き

#### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入力すること。  
すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。  
個人用保護具を着用すること。  
熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること/アースをとること。  
耐爆電気/換気/照明/機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

#### 【応急措置】

皮膚(または髪)にかかった場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること  
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。  
 火災の場合: 消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。  
**【保管】** 施錠して保管すること。  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。  
**【廃棄】** 内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 単一物質

成分名	含有量(%)	CAS番号	化審法番号
エタノール	99.5	64-17-5	(2)-202

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

### 4. 応急措置

**吸入した場合** 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合** 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。

**眼に入った場合** 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

**飲み込んだ場合** 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。  
 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

**応急措置をする者の保護**

### 5. 火災時の措置

**消火剤** 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコールフォーム、水スプレー(水噴霧)

**使ってはならない消火剤** 情報なし

**特有の消火方法** 情報なし

**火災時の特有危険有害性** 引火性がきわめて高い。

**消火を行なう者の保護** 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

### 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**  
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

**環境に対する注意事項**  
 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。その他の環境情報については12項を参照。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**  
 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

**回収、中和**  
 情報なし

**二次災害の防止策**  
 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い** **技術的対策** 火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。

**局所排気・全体換気** 局所排気装置を使用すること。

**注意事項** 「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照

**安全取扱い注意事項** 「10. 安定性及び反応性」の項 参照



## 12. 環境影響情報

### 混合物としての環境影響情報

生態毒性	藻類/水生生物	EC50: Chlorella alga 1000 mg/L 96 h
	魚	LC50: Fathead minnow>100mg/L 96h LC50: Oncorhynchus mykiss=11200ppm 96h
	甲殻類	EC50: Daphnia magna 5463mg/L 48 h
残留性・分解性	分解度: 89 % by BOD	
生体蓄積性	情報なし	
土壤中の移動度	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

## 13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法: 産業廃棄物(廃酸)、水質汚濁防止法: 生活環境項目、下水道法: 下水の排除の制限】

## 14. 輸送上の注意

### 国際輸送

海上輸送	IMDG Codeに従う
航空輸送	IATA危険品輸送規則に従う
UN 番号	UN1170
国連分類	3
プロパー SHIPPING 名	エタノール
包装等級	II
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	情報なし
環境有害物質	非該当

## 15. 適用法令

化審法	該当しない	
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物	別表第9の61
	危険物・引火性の物	施行令別表第1第4号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない	
毒物および劇物取締法	該当しない	
消防法	危険物第四類 アルコール類 危険等級 II 水溶性	
船舶安全法	引火性液体類(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)	
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)	
海洋汚染防止法	施行令別表第1 有害液体物質 Z類物質	

## 16. その他の情報

### 参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014およびJIS Z 7253:2012
- 3) NITE GHS分類データ
- 4) NITE CHRIP ([http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop\\_jp.faces](http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces))

### 改訂履歴

2023/8/18 更新

### 記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。